

## 真夏を元気で過ごすための漢方薬

### 真夏に使える漢方薬

部活動、スポーツ少年団、旅行のお供に

#### 補中益気湯

(ほちゅうえつきとう)



夏バテに使えます。  
夏バテ予防に毎日  
飲む方法もあります。  
食欲が出て、  
疲れにくくなります。

#### 清暑益気湯

(せいしょえつきとう)



岐阜の暑い夏には  
ピッタリです。  
汗がサラサラになり、  
バテずに動けます。

#### 小建中湯

(しょうけんちゅうとう)



もともと元気がなく、  
虚弱な人が毎日飲んで  
おくと疲れにくくなります。  
カゼもひかなくなります。

### 高温下の作業・運動に白虎加参湯

顔のほてり、ノドの渇きに効きます。



#### 白虎加人參湯(びゃっこかにんじんとう)

これを飲んで作業、運動をすれば  
汗をかいても楽に、倒れずに  
すごせます。



## 現在の外来状況

### 夏カゼが流行しています

アデノウイルス感染症が多く見られます。  
発熱が5日以上続くこともあり、入院を余儀なくされる  
お子さんもいます。  
急性胃腸炎も小流行しています。  
嘔吐だけの胃腸カゼが多いようです。

### 梅雨に入ってから気管支喘息の方が増えています

低気圧の影響で発作が出やすくなります。  
咳、喘鳴(ゼーゼー)、呼吸困難が起こります。  
吸入、点滴処置を行うお子さんもおられます。  
内服薬(西洋薬)が進歩してきてからは、  
重篤な発作のお子さんは減りました。



### 熱中症の方

夕方の外来に少人数ですが受診されています。  
部活動中に気持ち悪くなり、頭痛、吐気があり、  
点滴処置まで受けることもあります。

## お知らせ

#### 小児夜間急病センター当番日

7月10日(金) 19:30-22:30(受付) 場所:岐阜市民病院

#### 休診のお知らせ

7月2日(木)

講演会のため休診します。  
御迷惑をおかけしますが、よろしくお願ひします。